

市民ニーズの把握について

1 市民アンケート調査(詳細は別紙1参照)

(1) 調査概要

「町田市公共施設等総合管理計画(基本計画)」及び「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画」の改定に向けて、目指す姿、基本方針、次期再編プログラム等の検討にあたり、市民ニーズを把握することを目的として、以下のとおり無作為抽出の市民を対象としたアンケート調査を実施しました。

図 調査概要

1 調査名	これからの公共施設のあり方に関する市民アンケート	
2 実施期間	2025 年 6 月 10 日(火)発送 ～ 6 月 30 日(月)	
3 対象者	2025 年 4 月 1 日現在で 15 歳以上 80 歳未満の町田市民 3,000 人 ※ 町田市住民基本台帳から無作為抽出	
4 実施方法	郵送にて調査票を対象者へ発送し、郵送(返信用封筒での返送)または WEB フォームにてご回答いただく。	
5 調査内容	内 容	備 考
	・回答者の基本属性(性別・年齢・職業等)	・基本属性別のクロス集計により、地域、世代等による差異を分析する。
	・公共施設等マネジメントに係る課題認識や方向性に関する認識	・公共施設等マネジメントに係る課題認識の市民の認知度、方向性に関する市民の認識を確認し、基本方針等の検討に活用する。
	・未来の公共施設に求めるイメージ、将来にわたって優先的に維持していく必要がある施設機能 等	・市民が公共施設に求めるイメージを把握し、「目指す姿」等の検討に活用する。 ・優先的に維持すべき施設機能に関する市民の認識を確認し、機能別方針や具体的な再編の取組等の検討に活用する。
	・自由記述	・公共施設等に関するご意見等を広く収集する。

(2) 調査結果

3,000 人の調査対象者のうち 963 人の方から回答がありました(回答率 32.1%)。

これからの公共施設の役割を考えるうえで重要だと思うキーワードについての設問では、「安心・安全」、「災害に強い」、「地域コミュニティの拠点」が多く選択されました。特に、「安心・安全」は 62.5%(602 人)、「災害に強い」は 58.7%(565 人)と、回答者の過半数から選択されました。

地域の拠点にどのような機能・サービスがあると良いと思うかについては、「防災機能」を選択された方が 46.6%(449 人)と最も多く、続いて、「子ども・子育て機能(保育園、子どもセンターなど)」「(299 人、31.0%)」、「スポーツ施設機能(体育館、屋外運動場など)」「(258 人、26.8%)」、「図書・学習機能(自習室など)」「(230 人、23.9%)」の順で回答割合が高い結果となりました。

図 これからの公共施設の役割を考えるうえで重要だと思うキーワード

n=963

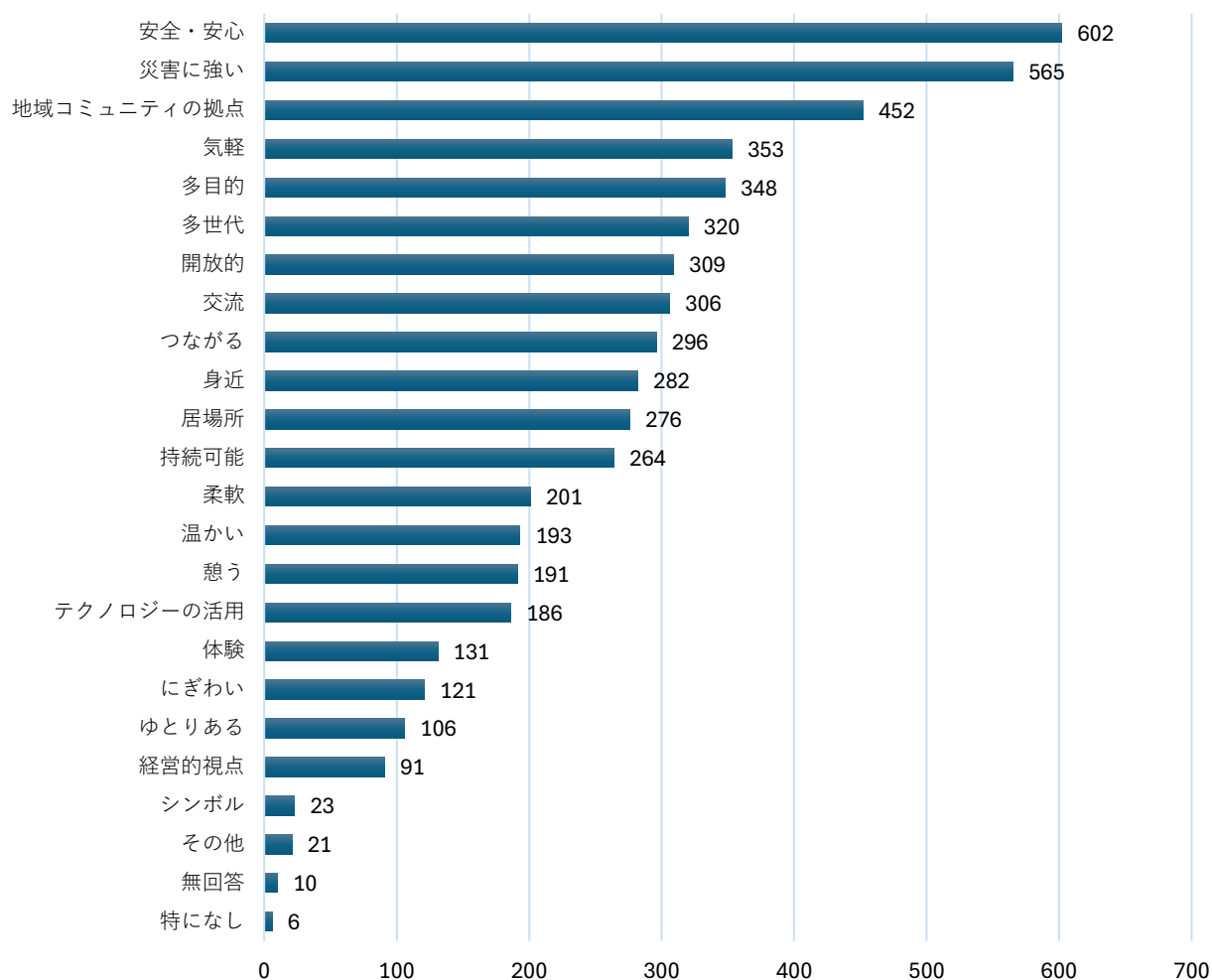
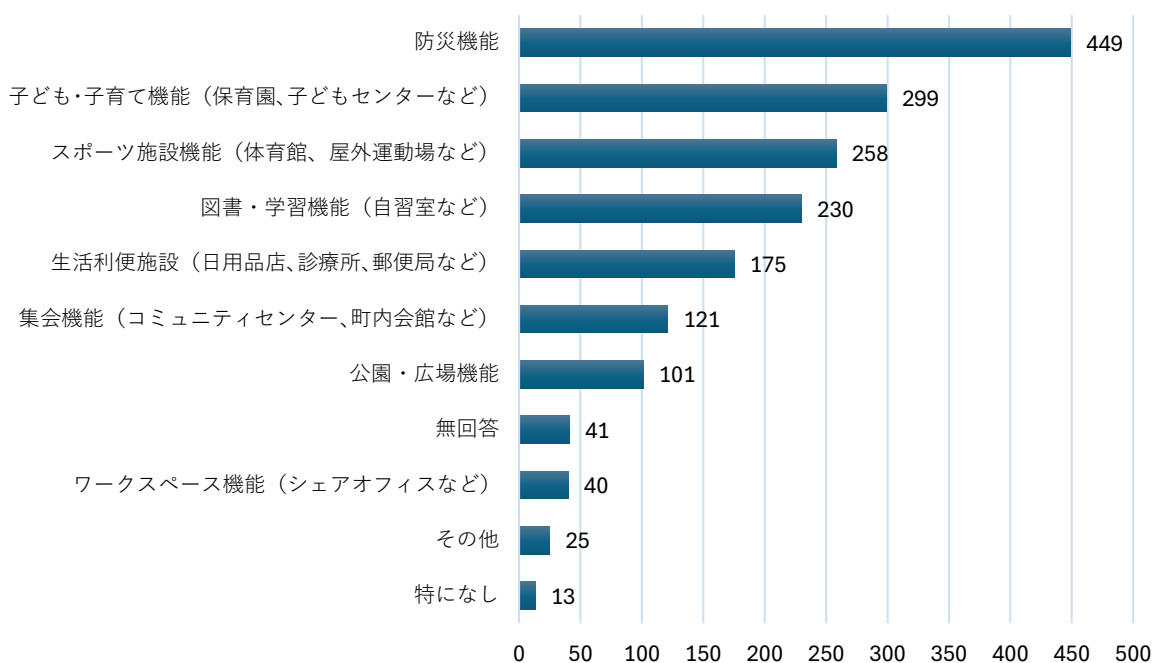


図 地域の拠点にどのような機能・サービスがあると良いと思うか

n=963



2 公共施設利用者アンケート調査

(1) 調査概要

「町田市公共施設等総合管理計画(基本計画)」及び「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画」の改定に向けて、目指す姿、基本方針、次期再編プログラム等の検討にあたり、公共施設を利用している当事者のニーズを把握することを目的として、以下のとお公共施設利用者を対象としたアンケート調査を実施しました。

図 調査概要

1 調査名	公共施設利用者アンケート								
2 実施期間	2025 年 6 月 16 日(月)～9 月 15 日(月)(3 か月間)								
3 対象者	<p>主に広く市民等が一般利用する以下の公共施設(48 施設)の利用者。</p> <p>(1)市民センター、コミュニティセンター(堺市民センター、小山市民センター、忠生市民センター、鶴川市民センター、なるせ駅前市民センター、南市民センター、木曽山崎コミュニティセンター、玉川学園コミュニティセンター、三輪コミュニティセンター、成瀬コミュニティセンター、つくし野コミュニティセンター、木曽森野コミュニティセンター、上小山田コミュニティセンター)</p> <p>(2)子どもセンター、子どもクラブ、ひなた村(子どもセンターばあん、子どもセンターつるっこ、子どもセンターばお、子どもセンターただON、子どもセンターまあち、子どもセンターばお分館 WAAAO、玉川学園子どもクラブ ころころ児童館、南大谷子どもクラブ MO こもこ、木曽子どもクラブ きそっち、三輪子どもクラブ MIWA～GO、小山子どもクラブ さん、小山田子どもクラブ ゆめいく、子ども創造キャンパスひなた村)</p> <p>(3)図書館、文学館、美術館(中央図書館、さるびあ図書館、鶴川駅前図書館、忠生図書館、木曽山崎図書館、金森図書館、町田市民文学館ことばらんど、国際版画美術館)</p> <p>(4)体育館、プール、陸上競技場(町田市立総合体育館、サン町田旭体育館、町田市立室内プール、町田 GION スタジアム(町田市立陸上競技場))</p> <p>(5)その他(町田市民ホール、健康福祉会館、和光大学ポプリホール鶴川(鶴川緑の交流館)、町田市民フォーラム、わくわくプラザ町田、町田ターミナルプラザ、プラザ町田(町田市文化交流センター)、町田新産業創造センター、町田リス園、町田ダリア園)</p>								
4 実施方法	ホームページ、対象施設への掲示、対象施設利用者への配布								
5 調査内容	<table><tr><th>主な調査項目</th><th>備 考</th></tr><tr><td>・これからの公共施設の役割を考えるうえで重要だと思うキーワード</td><td>・施設利用者が公共施設に求めるイメージを把握し、「目指す姿」等の検討に活用する。</td></tr><tr><td>・将来にわたって優先的に維持していく必要がある施設機能</td><td>・優先的に維持すべき施設機能に関する施設利用者の認識を確認し、機能別の方向性や具体的な再編の取組等の検討に活用する。</td></tr></table>			主な調査項目	備 考	・これからの公共施設の役割を考えるうえで重要だと思うキーワード	・施設利用者が公共施設に求めるイメージを把握し、「目指す姿」等の検討に活用する。	・将来にわたって優先的に維持していく必要がある施設機能	・優先的に維持すべき施設機能に関する施設利用者の認識を確認し、機能別の方向性や具体的な再編の取組等の検討に活用する。
主な調査項目	備 考								
・これからの公共施設の役割を考えるうえで重要だと思うキーワード	・施設利用者が公共施設に求めるイメージを把握し、「目指す姿」等の検討に活用する。								
・将来にわたって優先的に維持していく必要がある施設機能	・優先的に維持すべき施設機能に関する施設利用者の認識を確認し、機能別の方向性や具体的な再編の取組等の検討に活用する。								

(2) 調査結果

計 185 人の方からご回答をいただきました。これからの公共施設の役割を考えるうえで重要だと思うキーワードについての設問では、「安心・安全」(54.1%、100 人)、「つながる」(44.9%、83 人)、「地域コミュニティの拠点」(42.7%、79 人)、「交流」(40.0%、74 人)が多く選択されました。

将来にわたって優先的に維持していく必要がある施設機能については、「集会機能(市民センター、コミュニティセンター)」を選択された方が 60.0%(111 人)と最も多く、続いて、「庁舎窓口機能(行政手続きの窓口など)」(88 人、47.6%)、「図書館・生涯学習機能」(80 人、43.2%)の順で回答割合が高い結果となりました。

図 これからの公共施設の役割を考えるうえで重要だと思うキーワード

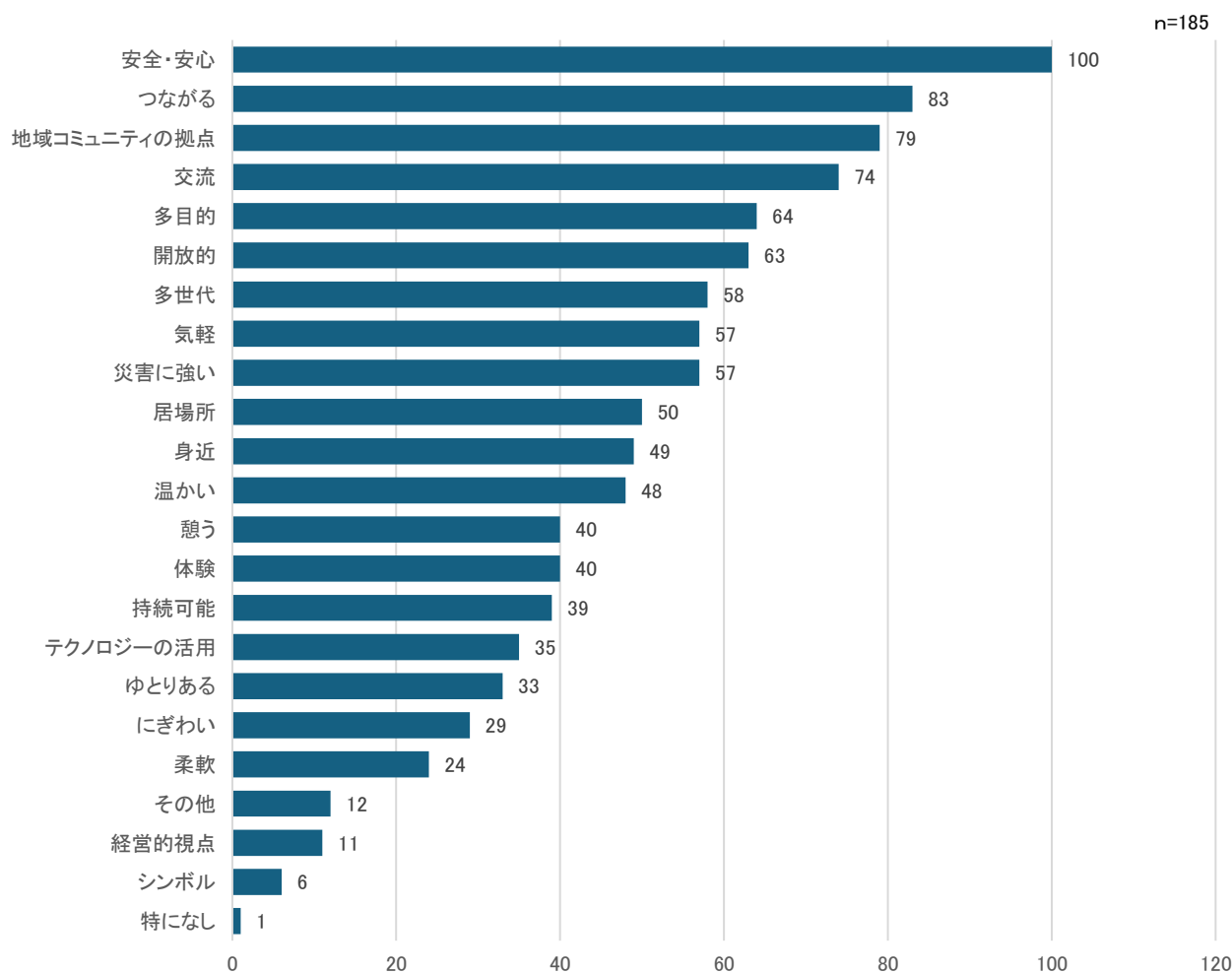
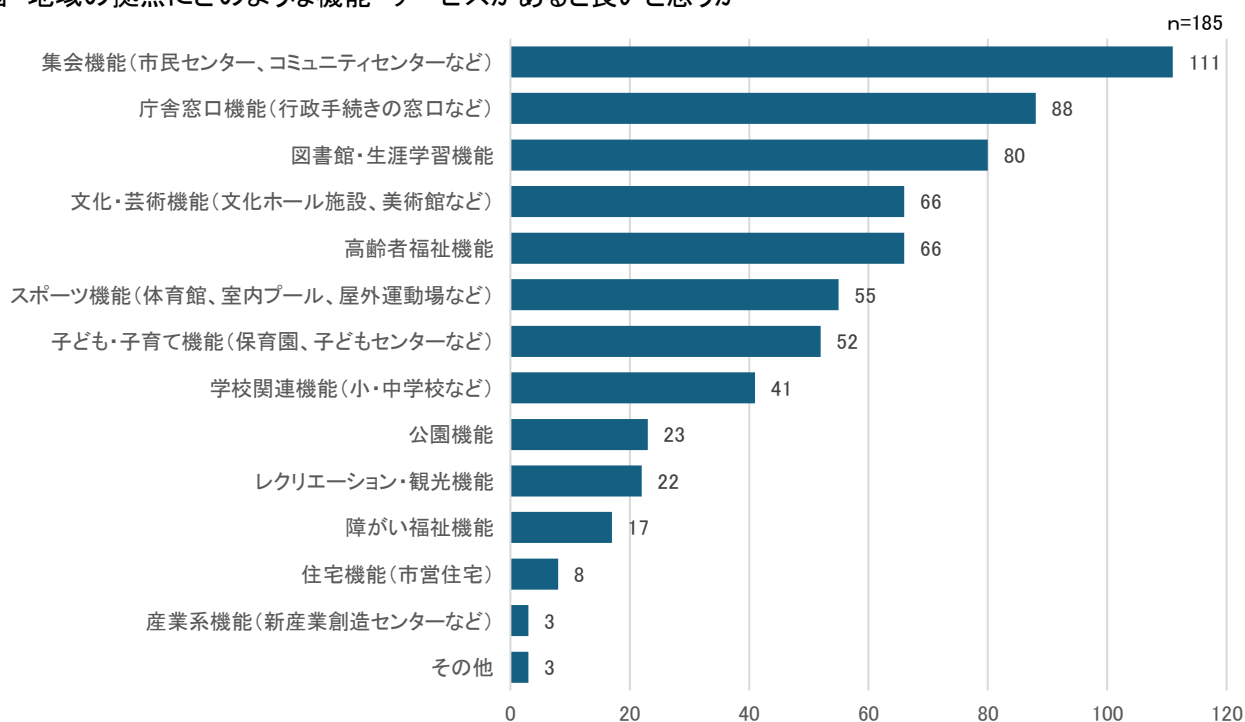


図 地域の拠点にどのような機能・サービスがあると良いと思うか



3 ワークショップ（詳細は別紙2参照）

（1）実施概要

「町田市公共施設等総合管理計画（基本計画）」及び「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画」の改定に向けて、「町田市公共施設等総合管理計画（基本計画）」に掲げる「目指す姿」の検討にあたり、市民ニーズを把握することを目的として、以下のとおり市民参加型ワークショップを実施しました。

図 実施概要

1 名称	公共施設の“みらい”を考えるワークショップ	
2 日時・会場	日 時	会 場
	7 月 5 日(土) 9:30～11:30	鶴川市民センター
	7 月 5 日(土) 14:00～16:00	南市民センター
	7 月 12 日(土) 9:30～11:30	小山市民センター
	7 月 12 日(土) 14:00～16:00	忠生市民センター
	7 月 13 日(日) 9:30～11:30	町田市庁舎
3 対象	町田市在住・在学・在勤の方、町田市の公共施設利用者、町田市内団体	
4 実施内容	<p>5 人程度のグループに分かれて、地域拠点（公共施設）の”みらい”の姿について、以下の2つのテーマでグループワークを行います。</p> <p>① これからの地域の拠点（公共施設）にとって必要な役割ってなんだろう？ 「自分が地域の中でやりたいこと、できたらよいと思うこと」を出し合い、それを踏まえ、「これからの地域の拠点にとって必要だと思う役割」について話し合います。話し合いを通じて、特に必要だと思う役割を 5 つ選定します。</p> <p>② みんなが集まる地域の拠点（公共施設）を想像しよう！ テーマ①で選択した役割の機能を担う地域の拠点が、どのような場所だと良いと思うか、「キーワードカード」を用いて、地域の拠点のイメージについて話し合います。</p>	

（2）実施結果

5 会場あわせて 53 名の方にご参加いただき、5 人程度のグループ（計 11 グループ）に分かれて、これからの地域の拠点（公共施設）が担う役割や、そのコンセプト等についてご議論いただきました。

① これからの地域の拠点（公共施設）にとって必要な役割

はじめに、テーマ 1 として、2040 年ごろの未来を想定し、概ね小・中学校区程度の地域の範囲に必要と考えられる地域の拠点（公共施設）の役割について話し合いました。

役割は、予め用意された 19 の「役割カード」のほか、オリジナルで考えても良いものとし、それぞれの参加者に、特に重要だと思う役割を 3 つ程度考えていただきました。その後、グループ内で、それぞれが考えた役割と、その役割が重要だと思う理由について共有しながら、これからの地域の拠点（公共施設）にとって特に必要だと思う役割を、その中からグループで 5 つ程度選んでいただきました。



その結果、全 11 グループの全体的な傾向としては、「地域活動(地域で活動する)」(7 グループ)、「地域防災(身を守る)」(7 グループ)、「居場所(過ごす)」(7 グループ)の役割が特に多く選ばれました。

グループワークの中では、「将来、地域のつながりなどが変化して、地域のコミュニティに求められる役割が変わっていても、『地域防災(身を守る)』の役割は変わらず必要だと思う。」「地域に誰でも気軽に過ごせる場所があると、そこで自然とつながりが生まれ、地域活動への参加にもつながると思う。」といったご意見が聞かれました。



図 これからの地域の拠点(公共施設)にとって特に必要だと思う役割(数値はグループ数)

地域活動	地域防災	居場所	生涯学習	交通	地域福祉	子ども子育て	スポーツ	文化芸術	娯楽	治安・防犯	医療	健康増進	窓口	仕事	飲食	農業
7	7	7	6	4	3	3	3	3	2	2	2	2	1	1	1	1

② みんなが集まる地域の拠点(公共施設)のイメージ

次に、テーマ2として、テーマ1で選定した役割を持つ地域の拠点が、どのような場所なら行きたいと思うか、みんなが集まると思うか、地域の拠点のイメージについて話し合いました。具体的には、60種類のキーワードカードの中から、参加者それぞれのイメージに近いキーワードを選び、役割との関連性を整理しながら模造紙に配置し、地域の拠点のイメージを具体化していきました。

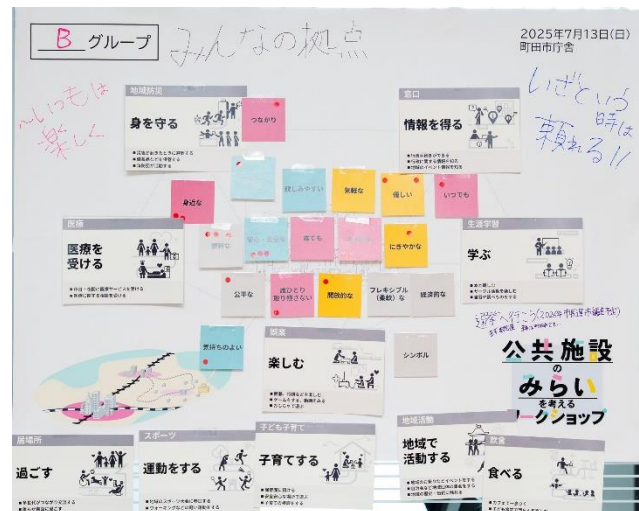
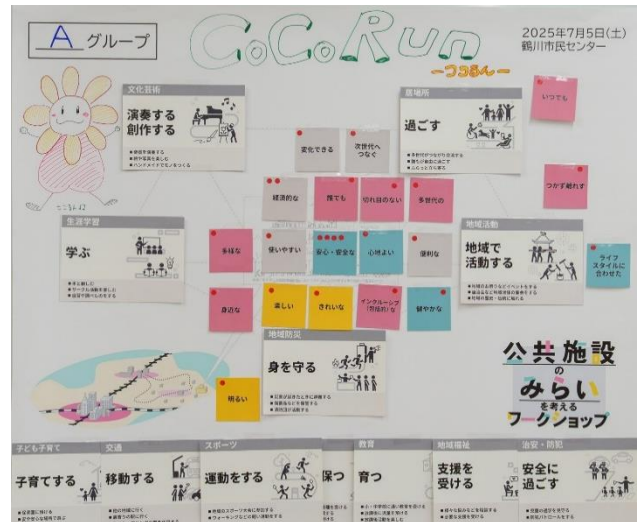
その結果、全 11 グループの全体的な傾向としては、「誰でも」、「安心・安全な」、「いつでも」、「多世代の」、「身近な」、「開放的な」といったキーワードが特に多く選ばれました。参加者からは、「安心・安全であることは、大規模災害時等の有事だけでなく、平時においても重要で、大前提であると思う。」「誰でも気軽に利用でき、様々な目的で柔軟に利用できると、人が自然と集まると思う。」といったご意見が聞かれました。



図 これからの地域の拠点(公共施設)にとって特に必要だと思う役割(上位 25 位)(数値はグループ数)

誰でも	11	開放的な	8	心地よい	6	便利な	5	フラットな	4
安心・安全な	10	インクルーシブ(包括的)な	7	次世代へつなぐ	6	いくつになっても	4	気持ちのよい	4
いつでも	8	楽しい	7	持続可能な	6	多様な	4	いきいきとした	4
多世代の	8	気軽な	7	フレキシブル(柔軟)な	6	環境にやさしい	4	きれいな	4
身近な	8	つながり	6	経済的な	5	親しみやすい	4	使いやすい	4

図 グループワークの結果(一部抜粋)



4 子どもの意見聴取

(1)実施概要

「町田市公共施設等総合管理計画(基本計画)」及び「みんなで描こう より良いかたち 町田市公共施設再編計画」の改定に向けて、「町田市公共施設等総合管理計画(基本計画)」に掲げる「目指す姿」の検討にあたり、町田市における CFCI(子どもにやさしいまちづくり事業)の取組を踏まえ、子どもの意見を反映することを目的として、以下のとおり子どもの意見を聴く機会を設けました。

図 高校生アンケート実施概要

1 名 称	高校生アンケート
2 対 象	① 東京都立成瀬高等学校 2 年生(2024 年度の「探求」の授業において「まちづくり」を選択し、「まちだ未来づくりビジョン2040」等に関する講義を受講した生徒 約 30 名) ② 東京都立町田総合高校の高校 2 年生(全生徒 約 200 名)
3 日 時	① 2025 年 6 月 13 日(金)～6 月 30 日(月) ② 2025 年 7 月 16 日(水)
4 実施方法	東京都立成瀬高等学校・東京都立町田総合高校の「探求」の授業時間に、アンケートにご協力いただく。アンケートの手法は、Microsoft Formsによるウェブ回答。
5 実施内容	以下の設問について、アンケートを実施する。 問 1 ふだん、どんな公共施設を使いますか。ここ最近 1 年ぐらいの間で、使った(行った)ことのある公共施設を教えてください。(当てはまるもの全てを選択) ※ 町田市内の公共施設に限りません。 問 2 どんな公共施設なら行きたいと思いますか。以下の選択肢から、あなたのイメージに近いものを選んでください。(いくつでも選択可)

図 子どもセンターつるっこ子ども委員への意見聴取

1 名 称	子どもセンターつるっこ子ども委員への意見聴取
2 対 象	子どもセンターつるっこ子ども委員(小学校3年生から18歳まで) 7 名 子どもセンターつるっこ子ども委員 OBOG(大学生等) 4 人
3 日 時	2025 年 6 月 7 日(土)15 時～16 時
4 会 場	子どもセンターつるっこ
5 実施内容	以下の項目について、ヒアリングを実施する。 ①ふだん、まちのどんな「公共施設」を使っているかな？ 子どもセンターつるっこも町田市の「公共施設」の 1 つ。みんなが通っている学校も「公共施設」。そんな身近な「公共施設」。みんなは普段どんな公共施設を使っているかな。お父さんやお母さん、おじいちゃん・おばあちゃんなどなど、家族や身近な人は、普段どんな公共施設を使っているかな。 ②みんなが行きたくなる場所ってどんなところかな？ 市役所では、子どもたち、子育て中のパパ・ママ、おじいちゃん・おばあちゃんなどなど、地域のいろんな人が集まる「地域の拠点」となる公共施設のあり方を考えているよ。いろんな人が集まる「地域の拠点」が、どんな公共施設だといいかな？いっしょに考えてみよう。

(2)実施結果

東京都立成瀬高等学校、東京都立町田総合高校の生徒を対象とした高校生アンケートでは、計 223 名の方にご回答をいただきました。その結果、高校生が普段利用している公共施設としては、公園、体育館、図書館等の割合が高いことが分かりました。特に公園は約半数にあたる 109 名の方が普段利用していると回答されました。また、「どんな公共施設なら行きたいと思いますか。」という設問に対しては、「身近な場所」、「居場所となるようなオープンスペース」、「気軽に利用できる施設」、「おしゃれで居心地の良い施設」の回答割合が高い結果となりました。

子どもセンターつるっこの子ども委員及びその OBOG への意見聴取では、「小学校に自習スペースや公園、塾、習い事ができるところがあると良いと思う。」、「子どもと大人の両方が使う場所でも、（例えば図書館で子ども向けの本は低いところや子どもコーナーに置くなど）子どもが使いやすいようにしてほしい。」、「駅に広場や公園があると良い。友達と話せるようなベンチなどがあれば良い。」といったご意見をいただきました。

何れも共通して、身近で気軽に利用できる居場所となるようなスペースを希望する声を多くいただきました。

図 ふだん、どんな公共施設を使いますか。(高校生アンケート)

n=223

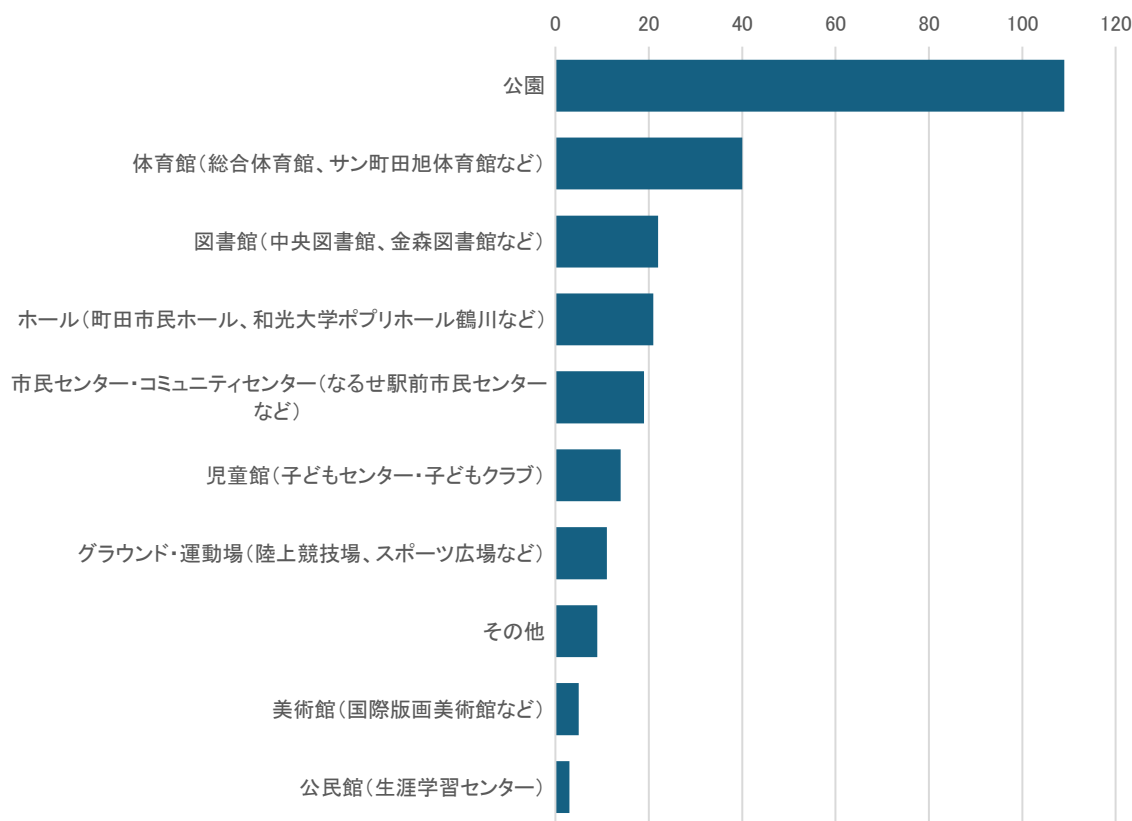


図 どんな公共施設なら行きたいと思いますか。(高校生アンケート)

n=223

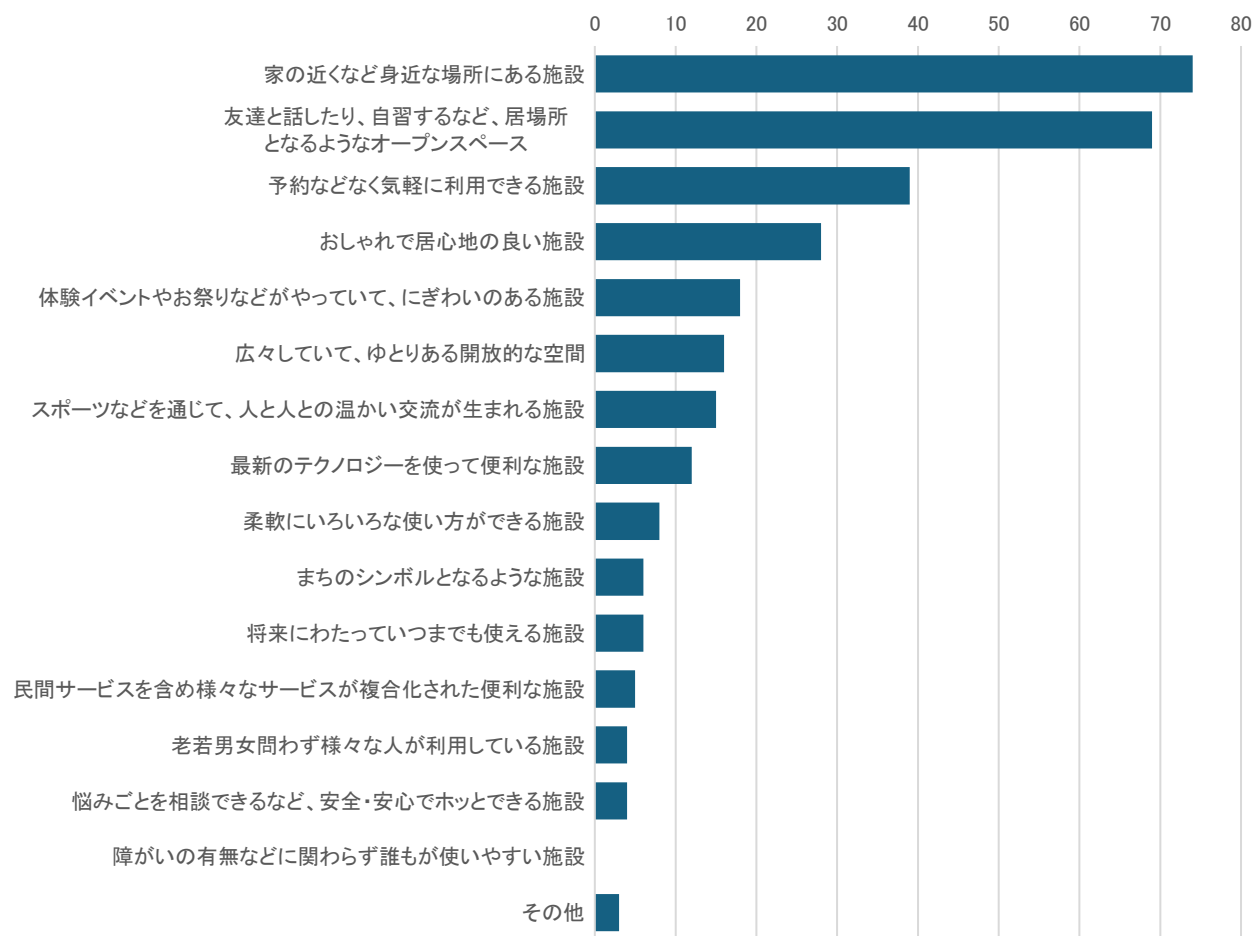


図 子どもセンターつるっこ子ども委員への意見聴取の様子

